

令和2年度 伊豆市立修善寺小学校 グランドデザイン



学校教育目標 「関わり合いの中で ともに伸びる だるまっ子」
 <チャレンジ やさしさ たくましさ>

聴き合い 伝え合おう

あいさつを届けよう

挑戦しよう

RESEARCH
現状分析

ACTION
手立て・方策の改善

CHECK
ステージごとの評価

- ・授業改善に前向きな職員集団
- ・伝え合いの必然性のある授業
- ・読書活動の推進
- ・話し合いながら学ぶ子

- ・自己有用感の醸成
- ・相手を意識したあいさつの推進
- ・誰かのために行動する子の育成
- ・子どもがつくる行事

- ・体力づくりをカー杯ややる子の育成
- ・防災や防犯について話し合う環境
- ・外遊びの奨励
- ・体力アップコンテストへの挑戦

- ・保護者や地域と連携した教育活動の推進
- ・情報発信の工夫
- ・明るいあいさつで迎える子の育成
- ・縦割り活動や園との交流発表の自由化

- ・笑顔と雑談の溢れる職場環境
- ・授業について話せる職員集団
- ・不祥事「0」の継続
- ・ワークライフバランスのとれた働き方

学び
確かな学力の定着のために

仲間
居場所づくりのために

いのち
いのちを守るために

絆
たくさん関わるために

やりがい
楽しく生きるために

育成すべき力

自己決定する力

豊かな表現力

くじけないたくましさ

PLAN

DO

地域と共に全職員で ~チーム修善寺~

【学校経営方針】 ~「みんなが行きたい学校」の理念のもとに~

- ①確かな学力定着のために授業改善を進める。 「授業がわかる子」A評価で85%
- ②認め励ます集団づくりを実践し、自己有用感の醸成。 「学級や学校のために役に立つことができた」A評価で80%
- ③教育環境を整備し、「健康な体づくり」「安全・防災教育の充実」を図る
自主トレーニングや体力づくりをカー杯やった子 A評価で85%
- ④地域や保護者に開かれた学校づくりの推進を図る。 「学校は情報をわかりやすく発信している」A評価で70%
- ⑤学校事務、校務の効率化を促進し、教職員の多忙化の解消とワークライフバランスを考えた働き方の実践
「超過勤務時間の2割削減」「仕事は楽しいと感じている教職員」A評価で80%

<静岡県教育振興基本計画>

「有徳の人」育成

知性を高める学習の充実
確かな学力の育成
学びを支える魅力ある学校づくりの推進
地域ぐるみの教育の推進

<児童の実態>

- 言われたことに対して素直に一生懸命に取り組む。
- 学年を超えて仲がよい。
- きまりを守ってまじめに生活する子が多い。
- ▲自分の思いを伝える力。
- ▲自分たちの手で何かをする力。
- ▲チャレンジする意欲に欠ける。

<伊豆市教育大綱>

ふるさと伊豆に誇りを持ち、夢やこころざしを持って、心豊かに生きる子供の育成